



博物館チャレンジカード 3

小学校 年 組 名前

このカードの使い方

- このカードはお茶についてしらべるためのものです。(「茶の世界」展示室)
- 展示を見たり、説明を読んだりして気づいたことや考えたことを書きましょう。
- わからないことがあったら博物館の人や先生にたずねましょう。
- えんぴつだけを用意しましょう。

1 お茶の葉から、3つのお茶が作られます。また、お茶は、中国から世界のいろいろな国へ伝わりました。気づいたことや考えたこと、絵などをかきましょう。



お茶の葉

りよくちや
緑茶

ふはっこうちや
不発酵茶

茶葉をつんですぐに熱を加え発酵させない。緑色。

ウーロンちや
烏龍茶

はんはっこうちや
半発酵茶

茶葉をつんで少し発酵させた。黄色～茶色。

こうちや
紅茶

かんぜんはっこうちや
完全発酵茶

茶葉をつんでしっかり発酵させた。赤茶色。



中国のお茶の部屋



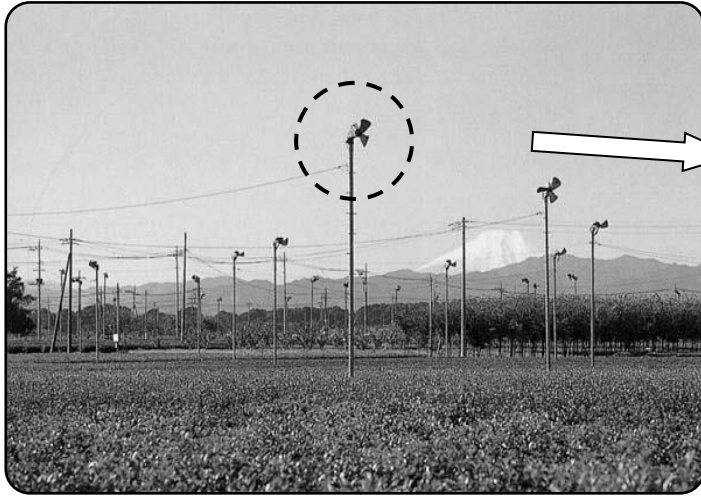
チベットのお茶の部屋



イギリスのお茶の部屋

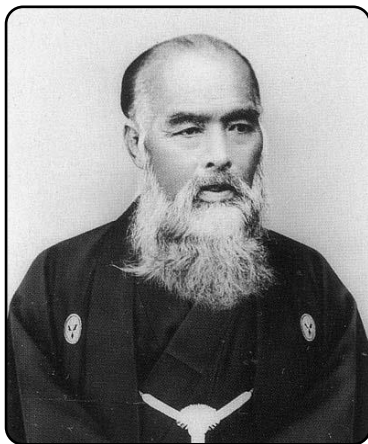
気づいたこと、考えたこと、絵など

2 わたしたちのすむ入間市で生産されるお茶は『狭山茶』とよばれ、全国でも有名です。

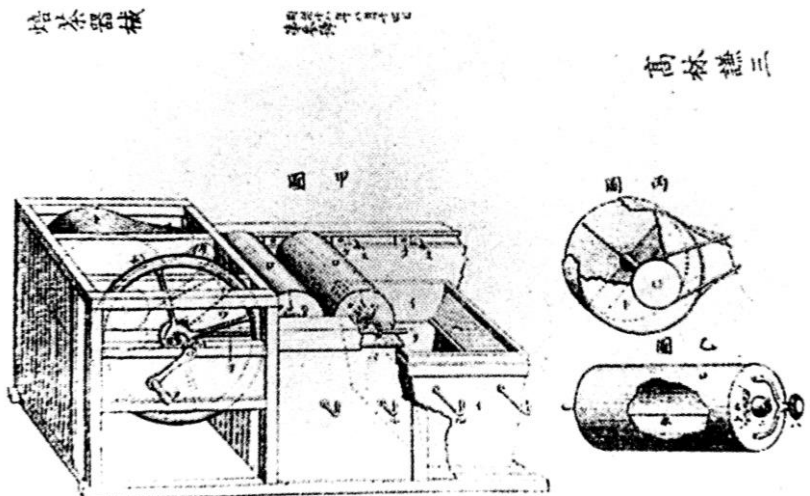


茶畑にたくさん立っているこの機械を「防霜ファン(ぼうそうふあん)」といいます。
お茶は霜に弱い植物です。夜、約6mの高さにある温かい空気をお茶に送ります。

3 高林 謙三(たかばやし けんぞう)はお茶づくりがさかんになるようにとたいへんな努力をした人です。川越のお医者さんでした。製茶機械を発明しました。



たかばやし けんぞう
高林 謙三



たかばやし けんぞう
高林 謙三 がつくった製茶機械の設計図

気づいたこと、考えたこと、絵など